

会 議 要 録

名 称	令和5年度 第2回西予市社会教育委員会	
事 務 局	西予市教育委員会教育部まなび推進課まなび推進係	
	TEL : 0894-62-6415	
	FAX : 0894-62-1115	
開 催 日 時	令和6年3月25日(月) 14:00 ~ 15:13	
開 催 場 所	西予市教育保健センター 4階 大ホール	
出席者	委 員	13名/19名
	事務局	16名
議事内容(要旨)	<p>1. 開会あいさつ 西予市社会教育委員会副委員長</p> <p>2. 委員長あいさつ 西予市社会教育委員会委員長</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 令和5年度事業の反省、6年度志向について 令和5年度社会教育実施報告書をもとに、まなび推進課長→まちづくり推進課長→人権啓発課長→地区代表センター主事・明浜→宇和→野村→城川→三瓶→図書交流館長補佐が説明</p> <p>【質疑・意見】</p> <p>少子化対策のための事業は深刻な課題で大切なことだが、今、具体的にどのような取組や模索をしているのか伺いたい。また、最近子どもたち小中高校生の地域での活躍が目につき感心している。野村復興ワークショップでの提案・提言や高校生グルメ甲子園での地域食材の利用を考案するなど、積極的に参画しており、素晴らしいことと思っている。各地域づくり活動センターにおいても子どもたちが参画できる事業をたくさん増やしてもらい感謝している。子どもたちは素晴らしい考え方を持っているので、活躍できる場を今後もどんどん提供していただければありがたい。</p>	
委員		
まちづくり推進課長	<p>少子化対策の新たな取組として、市では人口減少対策プロジェクトを立ち上げ取り組んでいる。その中で、まちづくり推進課では若い世代の方々の交流の場として、異業種交流スキルアップ事業を今年度新たに実施している。極力、結婚を意識</p>	

	<p>させずに集える場ということで取り組んでいる。今まで知ることのなかった違う業種の方と知り合うことによって自分自身のスキルアップになり、また横の繋がりもできるのではないかと考える。令和6年度においてもさらに進化させ、市内にお住いの多くの若い男女に参加いただいて、いろんな方々がお知り合いになっていただける場の提供に努めていく。</p>
<p>委員</p>	<p>ジオパークの中にある黒瀬城や松葉城は整備がされ、非常に価値のあるものだが、市の史跡に指定されていない。今後の展開について伺いたい。</p>
<p>まなび推進課長 補佐</p>	<p>現在、我々は小森、笠置峠、ムカイ山古墳を国の史跡にできないかと調査をしているところで、数年単位で時間はかかるがまずは、一つずつクリアしていきたいと考えているところ。先般、国の認定を受けた文化財保存活用地域計画の中でも黒瀬城や松葉城は非常に重要なこの町の歴史だと書かせてもらっている。しかしながら、大規模なお城であり、まずは基礎的な資料や図面を書くといった基礎調査を10年計画の中で来年度から進めたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>地域活動センターになって俵津地区では非常に活発化しており、職員の負担が以前より大きくなっているのではないかと思います。市役所の地域在住職員も地域のイベントに参加してもらいたい。限られたメンバーの参加にとどまっているので、参加してもらうための周知方法や働きかけの仕方などがあれば教えて欲しい。</p>
<p>まちづくり推進 課長</p>	<p>活発に活動をしていただいていることに感謝申し上げます。なかなか難しいが、情報発信して知っていただくことがまずは大事で、市としてもペーパーだけでなく様々なSNSを活用して活動を発信していければと思う。また、地域づくり活動センター職員の負担は確かに増えているところがあるが、決して職員だけで事業を行っているのではなく、地域づくり組織の方々と一緒に考えながら行っているため、職員だけの負担が増えていることにはなっていないと考える。センターだけ、一部の方々だけの負担とならないよう地域任用職員を任命して関わってもらっているし、センター職員、地域づくり組織どちらかだけでなく、双方が連携して事業を進めていただければありがたい。地域に住む職員も一住民であるので積極的に参加してほしいと思う。市が配置している地域担当職</p>

野村地区代表センター主事委員	<p>員が中心となって周知活動もして欲しい。職員の積極参加については市としても周知をしていきたい。</p> <p>人集めの観点で当地域づくりセンターの事例を述べる。中筋では20m級の大門松イベントがあるが、当初作製するのに人が必要であった。当時の役員は多少強引な方で、区長、班長、若者の団体等にほぼ強制で参加の声掛けをした。結果、今でも継続して参加をいただき、それが広がり、他の人も来てくれたり、次の人を引っ張って来たりしてくる流れができている。人集めは難しいが、強引さも必要ではないか。</p>
委員	<p>公民館から地域づくり活動センターへと変わって、職員はとても大変だったと思う。担当の課長は大変だったと思うが結果が出て良かったと思う。やはり、先ほどの中筋地区のように強引な人材が地域を無理やりでも引っ張って行かないと、きれいごとでは前に向いて進まない。今後も引き続き、しっかりとセンターの運営をしてほしいと思う。</p>
委員長	<p>センターの魅力の一つに営利活動がある。営利活動を実際にスタートしている、または目指している地域があれば報告願いたい。</p>
まちづくり推進課長	<p>行政自体は営利活動ができないが、センターを利用して民間の方が販売、または組織の方々が中心となって野菜や手作りの品を販売しているという事例が現在ある。センターに多くの方が集うという形での営利活動が行われている。</p>
事務局	<p>(2) 評価方法について SDGs 表の説明。</p>
清家室長	<p>センターと地域の考え方に相違が出ないように、このような資料をご提供しながら進めて参りたいと思う。</p>
委員	<p>(3) 意見交換 二木生地域づくり活動センターでは、認知事業を行っているようだが、私もこういう講座をしているので是非声をかけていただければと思う。また、土居地域づくり活動センターでは、図書交流館分館を土日祝日に開館しているとあるが、どういう工夫をして開館しているのか？</p>

